

同友会の学びで良い企業づくりを実践し、 2019年度 地域から期待される憧れの企業になろう! スローガン

同友会

良い会社をつくろう、良い経営者になろう、良い経営環境をつく ろうの同友会3つの目的実現に向けて「地域社会と共に歩む」 中小企業の自覚をもち「自主・民主・連帯」の精神で企業経営 と会運営を行うことです。

発行:愛媛県中小企業家同友会 編集:広報情報化委員会

明けましておめでとうございます。 本年も会報誌『えひめ同友』をよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶
中村時広・愛媛県知事2
野志克仁・松山市長3
篠原 実・四国中央市長4
菅 良二・今治市長5
加藤 章・東温市長6
武智邦典・伊予市長7
岡本 靖・松前町長8
第8回経営フォーラム9~15
南 予 出 張 例 会15
同 友 会 で 俳 友 会16
会員揭示板/名刺広告募集17
理 事 会 議 事 録18

新年のご挨拶

平野 啓三 代表理事



新年おめでとうございます。2020年は、 米中貿易摩擦、英 EU 離脱、気候変動、 11 月米大統領選、日本のオリ・パラ後 の経済落ち込みなど歴史の転換を予想 される激動の年です。2030年を視野に、 SDGs の実践、地球規模で考え、地域で 行動する同友会で学ぶ価値が問われま す。中同協50周年5万人達成に向け、 年度末まであきらめず共に頑張りましょう。

田中 正志 代表理事



少子高齢化や都市部への一極集中が 進む中、中小企業を取り巻〈外部環境は 激変し、経営環境は厳しさを増しています。 そんな中、変化に適応できる会社だけが 生き残ることができます。若者の明るい未 来に貢献するためにも中小企業として何を すべきか、共に学び、知恵を出し、全力 で取り組みましょう。

米田 順哉 代表理事



人手不足や消費税増税による悪影響で 中小零細企業を取り巻く環境は相変わらず 厳しい状況が続いており、今こそ同友会ら しい働き方改革 (=人を生かす経営)が 求められています。共に学ぶ仲間を増やし、 地域のインフラとしてあてにされる企業づくり・ 同友会づくり・地域づくりを進めていきましょう。

それに対応にするためには、

める必要があります。

人手不足が深刻化するな

人材活用力を高 付加価値の源

しか任せない。このような状況を改善し「多 を担う能力をもつパート社員にも定型的な仕事 らということで辞めていく。 き方が制約的になり、 て育てた女性社員が、 このためのマネジメントなのです。

築が求められています。

長い時間働けなくなったか 出産・育児等の理由で働 せっかく長い期間をかけ

パート社員だからと

基幹的な業務

力があれば基幹的な業務を任せる人事管理の構

れらに合わせて「多様な」働き方ができ、 や場所に制約のない人材であるという、 方をとる社員には周辺的な仕事を任せるという 幹的な仕事を、 まりこれまでの制約がない働き方をする社員に基 業が社員の能力を有効に活用することです。 方に関わらず十分に能力を発揮できるよう、 き基本的な方向は、 効に活用することは難しい。 やり方を変え、 働き方改革」と大きく異なる点です。 前提に立っているようでは、 制約があるため「多様な」 制約があろうとなかろうと、 これが、これまでの 「多様な」人材を有 目指すべ 能

陶冶

愛媛県中小企業家同友会

える基幹的な業務に従事する社員は、

な」人材を有効に活用する能力を高めることが

「多様な」人材が増えていることを考

様々な制約を抱えた柔軟な働き方を求め

人材活用力を高めるためには、この

必要になります。しかし、付加価値の源泉ともい

〒 790-0003 松山市三番町 1-11-10 ISSEIビル 301 TEL(089)948-9920 FAX(089)948-9931 http://ehime.doyu.jp



愛媛県知事 中 村 時 広

令和2年の年頭に当たり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。 愛媛県中小企業家同友会の皆様方におかれましては、「良い会社、良

い経営者、良い経営環境」の実現に向け、新入社員から経営者までを対象としたセミナーの開催を はじめ、中小企業経営者の資質向上や社員の育成のためのさまざまな活動に尽力され、本県経済 の発展に多大なご貢献を賜っており、深く敬意を表します。

また、西日本豪雨災害の被災地において、商談会を実施されるなど、幅広いネットワークを生かした継続的な復興支援に努められており、大変心強く存じます。

県におきましては、豪雨災害からの創造的復興を県政の最優先課題に位置付け、引き続き、被災事業者に寄り添った各種サポートやかんきつ園地の復旧など、地域産業の再生に全力を挙げ、一日も早い復興を成し遂げる所存です。

さて、昨年は、念願であった台湾との定期航空便の就航をはじめ、大型外国クルーズ船の松山港への寄港、「G20 愛媛・松山労働雇用大臣会合」や「日中韓3か国地方政府交流会議」の開催など、国際色豊かな出来事が続いた一年でありました。県では、これらに官民一体となって取り組み、特に二つの国際会議では、世界各国から来県された方々から、本県の歴史や文化、食等に対する高い評価をいただくなど、多くの愛媛ファンの獲得につなげることができたものと確信しています。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックによるインバウンドの増加を見据え、東京プラスワンの訪問地としての情報発信の強化や外国人観光客の受け入れ環境の整備に力を注ぐとともに、国のナショナルサイクルルートに指定された瀬戸内しまなみ海道についても、そのブランド力を生かし、沿線の魅力に一層磨きをかけることで、インバウンド需要の拡大を図って参ります。

更に、地域経済の活性化を目指し、「媛スマ」をはじめとした愛育フィッシュ、本格的なシーズンを迎えたかんきつなど、愛媛が誇る優れた産品の販路開拓に向け、営業本部を中心に、デジタルマーケティングの活用等による戦略的な営業活動を展開し、実需の創出に結び付けていきたいと考えております。

皆様方におかれましては、こうした取り組みにご理解をいただき、今後とも、業種をこえたネットワークや中小企業ならではのフットワークを生かし、本県産業の振興と「愛顔あふれる愛媛づくり」にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様方の今年一年のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。



松山市長 野 志 克 仁

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎え のことと、心からお喜び申し上げます。

旧年中は、地域経済の活性化など松山市政に特別のご支援とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

愛媛県中小企業家同友会の皆様は、企業づくり、地域づくり、同友会づくりを3つの柱に、人を 生かす経営を実践する企業を目指し、相談窓口を設置するほか、実践重視の経営支援セミナーを 開催するなど、企業へのきめ細かなサポートをされており、深く敬意を表します。

また、松山市中小企業振興基本条例の推進機関である中小企業振興円卓会議の専門部会活動では、地元の大学と連携レインターンシップを行うとともに、企業と学生が魅力ある企業について意見を交換し、交流する機会を設けるなど、積極的に若者のキャリア教育をいただき、とても心強く感じています。

このように、地域とともに歩む企業をつくるため、企業経営や地域社会をリードする活動など、今後 も皆様のご活躍を大いに期待しています。

松山市では、近年深刻化する中小企業の人手不足を解消するため、昨年度から働き方改革支援 プロジェクトで、人材の確保、IT 導入での業務効率化、多様な働き方の3つの視点から様々な支援 を行い、地域一体で働きやすい環境を目指しています。

こうした中、今年度は、率先して働き方改革を進める貴会と連携し、経営者と学生が参加する職場環境改善セミナーを開催しており、働き方改革を実践する企業の事例発表やワークショップを行っています。このセミナーを通して経営者が職場環境の改善方法を学ぶとともに、就職活動を控えた学生に、市内中小企業の魅力を発信しています。

今後も、様々な課題を解決するため、貴会や関係機関と緊密に連携し、オール松山で取り組んでいきます。

そしてこれからも、「現地・現場を大切に」「市民目線を大切に」、市民の皆さんと一緒に「笑顔広がる人とまち 幸せ実感都市 まつやま」の実現を目指し、全力で取り組んでいきますので、皆様には一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様のご健康、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とします。



四国中央市長 篠原 実

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい初春をお迎え のことと、心からお慶び申し上げます。

愛媛県中小企業家同友会の皆様方におかれましては、地域経済の振興に多大なるご貢献を頂き 心からお礼申し上げます。また、市政各般につきましても、格別のご理解とご協力を賜っております こと深く感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、東予東部圏域においては、初めての振興イベント、「えひめさんさん物語」が開催されました。

イベントの中では、地元住民や企業・団体による自主的・主体的な取り組みが行われ、様々なイベントを通じて地域に眠っている資源を再発見することや、この地域で脈々と受け継がれている「文化や風土」の魅力を改めて見つめ直す良い機会となり、観光振興に繋げていくための起爆剤となりました。

今後は、これらの取り組みを一過性のものに終わらせることなく、「えひめさんさん物語」の成果を継承し、地域が一丸となって、人々が楽しく生き生きと暮らす「東予アクティブライフ」を創造していくとともに、地域の魅力を広く発信していくことで、地域産業の魅力をより深化させ、移住・定住の促進、産業を支える人材の確保、観光まちづくりの拡大や新たなイベントの定着に繋がることを願っております。

本年は、世界的スポーツの祭典であります、東京オリンピック・パラリンピックが今夏いよいよ開催されます。これにより、我が国に大きな経済効果と観光産業の活性化をもたらすことが見込まれ、景気拡大に向けた一大イベントとして大きく期待されています。

地方の景気回復のためには、地域を支える原動力である基盤産業の発展により、定住・交流人口の増加や雇用の拡大、人材育成など、地域経済の活性化が重要となりますので、行政といたしましても、これからの社会情勢をしっかり受け止めつつ、中央都市部でもたらされる経済効果を地方にも着実に取り込み、当市の基幹産業である紙産業をはじめとした地域経済の活性化に繋げてまいりたいと考えています。

どうか皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展、並びに皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶と致します。



今治市長 菅 良二

新年明けましておめでとうございます。愛媛県中小企業家同友会の皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお喜び

申し上げますとともに、日頃より地域経済の発展に多大なるご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、わが国では人口の急減、超高齢化といった大きな課題に対し、各地域それぞれの特徴を活かした地方創生が求められる中、本市におきましては、「いまばりへ新しいひとの流れを創る」ことを目標に、多彩な地域資源と交流を活かしたまちづくりを進めております。

まず、i.i.imabari! (アイアイ今治、I'm into Imabari! = 私は、今治に夢中です)キャンペーンと題し、みんなで今治市を盛り上げ、つい夢中になってしまうような今治の魅力を、広く世界に発信するための活動を行っております。サイクリストの聖地として名を馳せるしまなみ海道や日本遺産の村上海賊、瀬戸内海の海産物、農産物にFC 今治など、たくさんの魅力あるコンテンツが展開するプロモーションを一つのストーリーでつなぎ、誰にでもわかりやすいブランドイメージとして効果的に発信することで、i.i.imabari! (今治に夢中)な人をどんどん増やしていきたいと思っています。

中でも今や国内外から多くのサイクリストが訪れるしまなみ海道ですが、昨年 11 月7日、国から「第 1 次ナショナルサイクルルート」の指定を受け、記念すべきしまなみ海道開通 20 周年に花を添えられることができました。世界への PR などに国のご支援をいただきながら、今後とも引き続き愛媛県をはじめ関係機関、地域住民と連携し、しまなみ海道の魅力向上、観光振興や地域創生に取り組んでまいります。

また、本年 10 月には「日本遺産フェスティバル in 今治」を開催します。「今治市を日本遺産一色に染める」をテーマに、全国の日本遺産認定団体が今治市に集結し、日本の宝である日本遺産の魅力を全国へ発信するとともに、日本遺産「村上海賊」を核とした地域活性化に取り組んで参ります。さらに嬉しいニュースとして、市民一丸となって応援してきましたサッカークラブチーム FC 今治が、ついに J3 昇格を決めました。今後、FC 今治の更なる活躍が今治市民に元気を与え、また、交流人口の増加による地域の活性化につながるよう期待しています。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。



東温市長 加藤 章

新年、明けましておめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

愛媛県中小企業家同友会の皆様方におかれましては、日頃から地域経済の振興はもとより、東温 市政の推進に多大なご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、東温市では、人口減少に歯止めをかけ、"元気な東温市"を維持していくため、平成27年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しており、現在は、第2期の総合戦略の策定を進める中、更なる地域経済の活性化に向けた効果的な振興施策に取り組んでおります。

本市は、県内で先駆けて東温市中小零細企業振興基本条例を策定しており、条例に基づき、様々な専門分野の方々で構成される東温市中小零細企業振興円卓会議において振興施策を検討・協議しております。

そんな中、平成28年実施の「東温市事業所現状把握調査」から得られた様々な課題を解決するため、中小零細企業が中心となって取り組む「東温市中小零細企業振興『行動指針』」を策定し、実態に応じた振興施策を重点的に取り組んでおります。

その一つとして、人材不足などの課題解決に向けて、愛媛大学社会共創学部と連携して、大学生が中小零細企業へ訪問取材を行い、高校生や大学生、その他の求職者に対して市内の中小零細企業の魅力や強みをアピールするための紹介冊子『東温の匠・極(就職応援 ver.)』を作成するとともに、地元の高校や大学などで、中小零細企業を招請して PR を行う場の提供などを実施しております。

更には、同業他社との競争激化や人口減少による顧客確保の対策として、東温市観光物産センターを整備し、"東温らしさ"をコンセプトとした魅力ある商品を「SAKURA select(さくらセレクト)」として展開することで、地域資源を活用した商品開発から販路拡大まで支援できる体制を整えております。昨年は、SAKURA select に選定された商品を首都圏で、東温市単独では初となるフェアを開催し、私もトップセールスとして参加しましたが、確実な手ごたえを感じたところであります。

本年も、引き続き中小零細企業の皆様に頑張っていただける地域経済環境を整えるため、エコノミックガーデニングの考えのもと、中小零細企業の支援を積極的に行って参りたいと考えておりますので、 今後とも皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心からお 祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶 伊予市長 武智邦典

新年、明けましておめでとうございます。

愛媛県中小企業家同友会の皆様方におかれましては、健やかに新年

をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素より市政各般にわたりご支援とご協力を賜り、厚 くお礼申し上げます。

また、日頃から中小企業の振興と地域経済の活性化にご尽力いただき、深く敬意を表します。

さて、私にとりまして市政運営2期目の折り返しの年となりました昨年は、新天皇即位と同時に改元 が行われ新しい時代への幕開けを迎えた歴史的な一年でした。市政に目を向けますと、未来に希望 の持てる輝きのある伊予市を実現するためには、商工業をはじめとする地域経済の振興が極めて重 要な行政課題であるとの認識のもと、若者、現役世代が生き生きと働けるまちを目指して、産業の振 興、中心商店街の再生、創業支援施策の実施、中心市街地の整備、企業誘致の促進に取り組ん でいるところです。

市の中心部でもある伊予地域においては、昨年8月、新たな交流拠点として文化交流センター「IYO 夢みらい館」をオープンさせるとともに、本年3月にはJR四国では29年ぶりの新駅となる「JR南 伊予駅」が開業されることとなっています。この4月には市が運行するコミュニティバスの路線・ダイ ヤ等を大幅に見直し、駅や公共施設へのアクセスを向上させることで、住む人と訪れる人の相互交 流に拍車がかかるものと考えています。

一方、人口減少が急激に進行する中山地域においては、一昨年8月末の「道の駅なかやま」の 供用開始、昨年4月の県立中山高校跡地への未来高等学校中山キャンパスの開設に加え、今年 度内には中山スマートインターチェンジの開通が予定されており、地域の産業振興及び活性化に大 きな力をもたらすものと期待を寄せています。

また、双海地域においては、「JR 下灘駅」や「翠小学校」が人気スポットとして定着していますが、 令和2年度には「道の駅ふたみ」の全面改修を予定しており、更なる交流人口の拡大を目指して います。

今後も、私自身の市政運営の基本姿勢である、「動けば変わる」という信念に基づき、発展し続け る伊予市への使命と重責を持って、「魅力あるふるさと伊予市」を築いて参る所存ですので、皆様方 におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心からお 祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



松前町長 岡 本 靖

令和2年の年頭に当たり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。

愛媛県中小企業家同友会の皆様におかれましては、松前町政の各般

にわたりご理解とご協力を賜りますとともに、地域経済の発展に多大なるご貢献をいただいておりまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の町長選挙で無投票で当選させていただき、引き続き二期目の松前町政を担当させていただくこととなり、昨年 12 月 11 日から二期目がスタートいたしました。一期目の 4 年間では、町民の皆様に納得いただける町政を基本とし、町政懇談会やまちづくり女性会議で町民の皆様の声に耳を傾けながら、「①安全・安心なまちづくり、②安心して子どもを生み育てられるまちづくり、③賑わいと活力のあるまちづくり、④みんなで支えあうまちづくり、⑤快適で文化的でおしゃれなまちづくり」の5 つのまちづくりを全力で進め、防災士の養成や災害備蓄品の備蓄、中学校卒業までの医療費無償化の実現、はんぎり甲子園、ホッケーのまちづくり、イメージソングやプロモーションビデオの制作等の町のイメージアップ戦略の実施等に取り組み、一定の成果を挙げることができたのではないかと感じております。

二期目におきましては、一期目に取り組んだ5つのまちづくりを更に深化・発展させるほか、「①安全・安心な生活環境づくり、②笑顔で暮らせる健康づくり、③豊かな心を育む人づくり、④活力あふれるにぎわいづくり、⑤快適で暮らしやすい基盤づくり」を基本政策として、「災害対策」、「土地利用の検討」、「保育の受皿確保」、「学校の教育設備の充実」などに力を注ぎ、町民の皆様お一人おひとりが生きている幸せを実感しながら、働き、学び、憩い、楽しみ、笑顔で暮らすことができる「生きる喜びあふれるまち まさき」、松前町に住んでいることを誇りに思えるような「誇れるライフタウン まさき」の実現に向け、引き続き全身全霊を傾けて町政の発展に力を尽くす所存ですので、今後も一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、愛媛県中小企業家同友会のますますのご発展と、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、 年頭の挨拶といたします。 11月28日休、第8回経営フォーラムを「ANAクラウンプラザホテル松山」にて開催いたしました。フォー ラムテーマは「持続可能な企業づくりで、愛媛の未来を夢あるものに ~会社の大きさカタチは違え ども、おかれた場所で花咲かそう~」。合計参加者数は 179 名で、他県同友会からも多くの会員・事 務局員の皆さんがご参加くださり、大いに学びあうことができました。実行委員の皆さんに記念講演、 各分科会、懇親パーティーの内容をご寄稿いただきましたので、ご覧ください。

父・宇沢弘文を語る

未来を変える目標 SDGs と中小企業に求められることとは



■報告者:占部 まり 氏 宇沢国際学館 代表取締役

の参加者にももっと参加し

ていただきたいという思いが繋がり、今回の占部氏・セージが語られました。 とのご縁となりました。

父親が経済学者の宇沢弘文氏、また宇沢国際学 館の代表であり、医師でもある占部氏から語られる 話は、決して経済や企業活動に偏らず、「人々の 暮らし」に寄り添ったシンプルなお話であったことが 全体を通じての感想でした。

宇沢弘文について、娘から父親への思いを語り、 継承した「社会的共通資本」についてもわかりや すく解説しました。

「一つの国ないしは、特定の地域に住むすべての 人々が、ゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化 を展開し、人間的に魅力ある社会を継続的・安定 的に維持することを可能にするような自然環境や社 会的装置」。まさに SDGs と目指す方向は同じであ ることを指します。

また、なぜ暮らしに経済学(数字)なのか?例え ば「山」といえば、自分が知っている山をそれぞ れ想像します。すなわち、人の経験値によってイメー ジが変わります。しかし、数字[1+1=2]は、 人の経験値によって変わるものではありません。共 通言語となり、数字を活用して、地球温暖化対策 や医療に合わせていけるとおっしゃいます。

また、日本人は幸福ホルモンを使うのが下手とも 警鐘。「何かあったら困る」というリスク回避の行動 が多く、幸せになるための行動になっていないので

今回の経営フォーラムの・はないか。これは、経営においても当てはまること テーマは「SDGs」。女性:が多いと感じられる投げかけでした。

最後に、占部さんより中小企業の経営者へのメッ

1. 宇沢弘文の本を読んでください。2. あなたの 前提条件は合っていますか? 3. 変人が変え、凡 人が支える。4. 女性や若者の活用を。支えること、 そしてレッテルを貼らないこと。

宇沢弘文氏の著書『経済学は人びとを幸福にで きるか』『生命・人間・経済学』というタイトルから も受け取れる、人を大切にすることを根源とした数々 のメッセージは、SDGs の取り組みテクニックではな く、その本質を私たちに問うものでした。

私たちが目指す社会は、そして経営は、誰一人 取り残さない、人間の心を大切にしたものになって いるでしょうか。

寄稿:堀田 真奈さん

(NPO 法人ワークライフ・コラボ/松山支部第2地区会)



第1分科会

経営者の『覚悟』が社風を変える ~ダイバーシティから見えてきたもの~

■報告者:中村 こずえ 氏

有限会社エス・ケイ・フーズ 取締役/長崎県中小企業家同友会 副代表理事

中村こずえさんは、最初から障がい者雇用をして : ました。これは障がい いたわけではありませんでした。

初めて障がい者雇用の現場を見たときは、障がい 者のAさんは厨房内の掃除をしていました。こずえ さん自身もそれぐらいしかできないだろうと思ってい ました。6年後再会したらAさんは厨房内でお肉を 焼くほどにまで成長していました。この時に、Aさん の努力もすばらしいと感じたのと同時に、そこまで育 てたスタッフの努力にも感動しました。こういう社風 をつくりたい。障がい者雇用をしていきたいと覚悟を 決め、まずはできることから考えてすぐに行動しまし た。一人じゃ何もわかりません。行政や学校、企業 や団体に教えてもらい障がい者雇用をはじめていき ました。雇用をしていろいろな経験していくなかで、 社員も障がい者も共に育ち自ら考えて動くようになっ てきました。



みなさん。こずえさんだからできる。私のところで はできない。と、できない理由を探していませんでしょ うか?本当にできないのでしょうか?障がい者はみ なさんと一緒に働きたいと思っています。1時間でも 2時間でもいい。役に立ちたい。褒めてほしい。認 めて欲しいと思っています。私たち経営者ができる ことはそういう場を探すこと、提供することです。最 初は手がかかるかもしれません。時間もかかると思 います。しかし40年という長い目でみると必ず戦力 として成長してくれるのです。

グループ討論ではできる仕事の切り出しをしていき

者だけでなく、全社員 の働き方にも応用がで



座長の上田剛士さん(右)と

きます。正社員にとっても切り出すことで助かる部分 がたくさんあるはずです。助かった分、障がい者や 会社、お客様、家族のために、より多く有効的な 時間をつかうことができるのです。私たち経営者は ボランティアではありません。売上や利益を出して いかねばなりません。仕事の切り出しで生産性が下 がるのではなく、上げていかねばなりません。仕事 を切り出したら経営者は覚悟をもって実行していきま

座長から最後のまとめとして SDGs を次のように説 明しました。

- 「S」障がい者というくくりではなく、
- 「D」ダイバーシティという多種多様な全ての人たち
- 「G」がんばって共に仕事に取り組み
- 「s」幸せをつくっていこう

SDGs とダイバーシティ経営は連動しています。多 種多様な全ての人を生かす経営をしていかなけれ ばならないことに気付かされた分科会となりました。 ※本人希望により「こずえさん」とお名前で表記しています。

> 寄稿:上田 剛士さん (侑)キホク/松山支部第3地区会)



第2分科会

多様な働き方への対応 ~失敗をバネにする成長する従業員との強い絆~ 共に幸せになる藤大の流儀

■報告者:**藤田 大子** 氏

株式会社藤大 代表取締役/京都中小企業家同友会 会員

「第2分科会の座長をお願いします」本田実行委:た。会社も自身の成長 員長より要請があり、打ち合わせのために京都府亀:も自分ひとりだけで成る 岡市に会社を構える「株式会社藤大」に訪問させ、ものではなく、従業員・ て頂きました。近くの駅に女性従業員さんが車で迎 えに来てくれました、若いお嬢さんで丁寧な言葉遣 いに社員教育などしつかりされていることがこのとき にすでに感じていましたが、従業員のそのような立 ち振る舞いの背景にある藤田さんのどのような想い・ 考え方からきているのか知る由もありませんでした。 事務所でも笑顔で元気よく迎えてもらい、従業員休 憩所を経由して応接室に案内されましたがそこでも さまざまな年齢層の女性従業員が楽しく会話してお り、女性が元気な会社であることは一目瞭然でした。



打ち合わせでも当日の報告でも藤田さんの想いの 熱さはまったく変わりませんでした。今回の報告で 藤田さんは「組織論」や「スキル」など小難しい 技術の話などは一つもしていませんでした。在った のはこれまで経営してきた自身の姿と従業員・会社 に対する想いだけです。「人に素直な気持ちでまっ すぐ向き合う」藤田さんはすべての従業員を見て、 声をかけ、会話して向き合うことを常にし続けること が大切であると分科会でも強く熱く報告して頂きまし



座長の好永隆之さん(左)と

取引先など周りにいるたくさんの人に支えているとい うことを理解し、どんな意見・考えに触れてもそれら を素直な気持ちで受けとめる心が大切だと教えてく ださりました。飾らない在りのままで話す藤田さんの 報告に誰もが一言一句逃さず聴き入り、メモを取っ ていました。報告を聞いていて、「自社ではどうだろ う?」「自分の従業員との関わり・接し方」など聞き ながらでも思い考えてしまう参加者も多かったのでは ないでしょうか。かく言う私も従業員との関わり方や 接し方を今一度考えました。

さまざま苦難を乗り越え、たくさんの方に支えられ ていることを素直な心で受けとめる藤田さんの姿に は経営者を超えて一人の人間として手本とするべき 存在であると今回の報告で私は強く感じました。同 友会という「縁」で今回藤田さんと知り合えたことは 大変貴重なことです。今後もこのような縁を大切にし つつ経営者として同友会で学んでいくことに精進し ていきます。

寄稿:好永 隆之さん(㈱昆布森/伊予・松前支部)



第3分科会

木質バイオマスを利用した エネルギーの地産地消と地域創生

■報告者:内藤 昌典 氏

有限会社内藤鋼業 代表取締役/愛媛県中小企業家同友会 会員

チップ (製紙用) にしか利用が出来ない未利用材を 山から出して木質燃料 (ペレット) にして発電する。報 告者である内藤さんの取り組みを一言で言うとこのよう になります。あまりに突拍子もなく、一般的に見れば理 解し難いお話です。しかも最先端の環境技術や工夫が 散りばめられた報告であるため、第3分科会では参加 者に理解していただくためにいくつかの工夫をしました。 まず、報告中の質問をOKにしました。また、膨大な

まず、報告中の質問をOKにしました。また、膨大な情報量から重要事項をピックアップし、A4の紙にキーワードを書き出して貼り出しました。これらの工夫により比較的スムーズに理解が進んだのではないかと思います。



さて、内藤さんのお話はそもそもどうして木質ペレットを作るようになったのかから始まりました。木工機械の商社である内藤鋼業は顧客から、ダイオキシン問題で木屑等の焼却処分ができなくなり「処理コストがかさんでどうにもならない」との相談を受けます。そこで内藤さんはペレットビジネスに乗り出します。木屑でペレットを作り、それを木質燃料として売り出すのです。石油価格に左右されたりと困難もありましたが、地元内子町も「内子町バイオマスタウン構想」の一環として木質ペレットの活用に力を入れはじめ、内藤さんは町に欠かせない存在となっていきます。

さらにその流れは、紆余曲折を経ながらも木質ペレットを使った発電プロジェクトへとつながっていきます。

2016 年から始まったこの プロジェクトは、2018 年11月ついに「内子バイ



座長の菊間彰さん(右)と

オマス発電所」として結実します。内藤鋼業はペレット の製造と発電所の管理を請け負っているそうです。

内藤さんの話で印象的だったのは、決して自分だけが儲けようとしないことです。ペレットに取り組んだのも発電事業に取り組んだのも、いろいろな人から請われて、そして「他にやる人がいない」という理由からでした。そして事業化にあたっては綿密な事業計画を立て、たくさんのステークホルダーを巻き込み、その人たち全てがハッピーになるような仕組みを作るのです。発電事業が動き出した今では、従来エネルギーコストとして域外、国外に流出していた資金が内子という地域内で循環するようになりました。その額はなんと、年間4億円にも及ぶとのことです。

報告の後は、通常のグループ討論ではなく「えんたくんミーティング」を実施し、自由闊達な意見が交わされました。これらを通じ、まさに「エネルギーの地産地消と地域創生」についてみんなが考える分科会となりました。

寄稿: 菊間 彰さん((一社)をかしや/今治支部)



「えんたくんミーティング」を取り入れたことで 関達な意見交換がされました

第 4 分科会

100年後も続く豊かな地域の未来を、 第一次産業で作る

■報告者:山内 満子 氏

スリーラインズ株式会社 代表取締役/愛媛県中小企業家同友会 会員

第4分科会は、報告者はスリーラインズ株式会社・ 加者の皆さんは大いに 代表取締役の山内満子さんでした。会外ゲストや他 県同友会の方の参加者が多く、通常の例会とは異 なった新鮮な雰囲気の中で始まりました。この分科会 での SDG sのテーマは、5番 (ジェンダー平等を実 現しよう)、9番(産業と技術革新の基盤をつくろう)、 11番(住み続けられるまちづくりを)、14番(海の豊 かさを守ろう)です。山内さんが、男尊女卑の風潮 の漁協で女性の存在感を発揮し認知させた点、常に 改革革新を念頭に行動し続ける姿勢、従来の資源を 無駄に使い海洋汚染を招く魚の養殖から環境負荷の 少ない養殖のりに目を付けた着眼点、こういったこと に着目しながら報告を聞いていただきました。



報告内容は、山内さんが、漁家へ嫁いできて普通 に主婦として家業を手伝い、子どもを育て、家を守っ ていただけの存在から、ふとしたきっかけから地域の 漁協の女性部長を引き受け、遊子漁協をまさに日本 一の漁協女性部に育て、今まで男性に従属するよう な役割でしかなかった封建的な漁協社会の女性たち を主体的で物が言える存在にし、その他様々なイベ ント等で地域と関わっていく中で地元に若者が残って くれるようになればとの思いが強まり、現在の養殖のり の加工会社を立ち上げるに至ったといったもので、参

: ひきつけられたようでし



座長の日野啓介さん(左)と

討論テーマは、「自社を取り巻く環境の変化はどの ようなものですか?その変化に対してリーダーはどの ような対応をしていますか?」でした。多くのグルー プで白熱した議論がなされていて、発表が2つのグ ループのみというのが残念でした。

座長のまとめは、「人口減少時代こそ、我々が直面 する最大の変化であり、それに対応できる組織や方 法論を確立しなければならない。遊子に昔から伝わる 『結いの精神』一つの家に養殖いかだは1軒が1台ま でしか所有できないみんな平等、助け合いの心が大 切で、手法や戦略より山内さんの家族や地域の人た ちに対する愛情こそ見習うべきでは」としました。

分科会終了後、何人もの参加者の方々から「感動 しました」等の感想をいただき、山内さんを囲んで多 くの人達が記念撮影に興じている姿は、皆さん楽しそ うで、私も座長を引き受けて本当に良かったと感じま した。

寄稿:日野 啓介さん

(日野啓介社会保険労務士事務所/松山支部第2地区会)



懇親パーティー

分科会で、それ ぞれが深い学びを 感じ取った後、再 びメイン会場・ダ イヤモンドボール ルームに集結しま した。米田順哉代



表理事の乾杯で懇親会は始まりました。今回のテーマ SDGs の一端で愛媛県が取り組む「食品ロスの削減」を司会の玉野聖子さん(㈱エンカレッジ・代表取締役)が説明し、最初の30分は食に集中するよう促すと会場は食と会話の坩堝(るつぼ)と化しました。記念講演の学び、分科会での学び、自社の近況、それぞれのテーブルで様々な話題が飛び交います。他の分科会の話



も聞きたかったとの 声もちらほら。辺り を見回しても、「ひと りにしない」という同 友会の精神が根付 いており、笑顔で会 話が続きます。酌み交わす言葉の中、垣間見られた

真剣な眼差しが印 象的でした。

宴もたけなわと なった頃合いに、ゲ ストダンサーの兵頭 朋子先生が弟子と ダンスを披露。そう



だ、ここはボールルーム(舞踏場)! 二曲目が始まると、そこへ艶やかな衣装にドレスアップした本田美紀実行委員長が登場し、練習の成果を! 拍手喝采。そして、県外から駆けつけた同友会の同士が、和田アキ子のものまねを披露。会場は興奮から爆笑の渦へ巻き込まれました。

平野啓三代表理事の中締めの挨拶で終了。かと思いきや、集まった方々から本田実行委員長に指名がかかり、感謝の辞を表しました。第8回経営フォーラムは、SDGsを掲げ、笑顔が繋がり、未来を描く会となりました。

寄稿:木本 康聖さん

(木本経営コンサルタント事務所/伊予・松前支部)

実行委員長 挨拶

「In bacca al lupo!」 これはイタリアの格言「さ あ!狼の口の中へ」を意味 しているといいます。

ゲームは点を取り返されたときはじまり、レースは抜き



返されたときにはじまる、ゲームもレースも本人が失敗 したと感じた瞬間おわるといいます。

今回の 2019 年経営フォーラムは私たちにとり、ある 意味この「狼の口の中へ」でした。

そして間違いなく私たちは果敢に狼の口の中に飛び こんだのだと言えます。

11 回の実行委員会をへて、2019 年 11 月 28 日に約 180 名の参加者の方にご協力をいただき無事開催できましたこと、衷心より感謝を申し上げます。

今回の SDGs を中心に据えたフォーラム開催は、同 友会が長年取り組んできた様々な活動の根幹をなして きたものである事に行きつき、自分たちの目指したもの が間違いなく未来を見据えたものであったことの証明でもありました。

記念講演の宇沢弘文氏の日本経済の礎となる人間を 中心におく「人間経済学」をご長女占部まりさんを通 して語っていただき、4つの分科会では、全国的に活 動されている中村こずえさん・藤田大子さん。県内か らは内藤昌典さん・山内満子さん。この4名の方から 報告をいただきました。

至らないところはご容赦いただき、実行委員みんなで 積み上げ、愛媛県中小企業家同友会みんなで作り上 げてきた経営フォーラムを振り返り、検証して次にバトン を渡したいと思います。

変化を恐れず、大事なものを手放さず…さあ「狼の口の中へ」

第8回経営フォーラム実行委員長 本田美紀

経営フォーラム参加学生からの感想

第8回経営フォーラムへは、計13名の学生が参加してくれました。学生の「当日の学び」に関するコメン トを抜粋して以下に掲載いたします。ぜひご一読ください。

- ◇多くの企業様が SDGs を意識しながら事業を行うことに賛同さ れており、嬉しかった。このような会が企業の経営や地域社 会が良くなることに繋がると思うので、大変充実した会だった。 やはり、地域社会や環境問題に適応していくような企業で将 来働きたいと改めて思った。
- ◇普段の生活では聞けないお話を聞けたこと。緊張感を持っ て現場に行き、会でのルールやマナーの片鱗に触れたこと。 報告者さんの話は興味深く今後のゼミ活動のどこかで役に立 つ内容だった。
- ◇自分達の視点とは異なる視点での考え方、労働者をまとめる 側の人間が先ず何を目的として、どのような結果を出していく べきか、人間にとっての幸せとは何なのかを学ぶことができま した。
- ◇地域活性化にも貢献しているバイオマス発電事業の成功例を 学ぶことができて良かった。グループワークの際には、専門 的な話が飛び交い、自分では思いつかなかった発想にも触 れることができ、勉強になった。

第 4 回 南予出張例会

地方で実践するエネルギービジネス ~内子バイオマス発電所 見学例会~

■報告者: 内藤 昌典 氏

有限会社内藤鋼業 代表取締役/内子バイオマス発電所 所長/愛媛県中小企業家同友会 会員

■日 時:2019年11月11日(月) ■会 場:内子バイオマス発電所 ■参加者:7名

今回は、全国的に注目を集めている「内子バイオマス発電所」 : じっくりと見せていただきました。 で出張例会を実施しました。座学と見学の2本柱。平日の日中、 それも内子町小田の山の中での開催でしたが、発電所内部にま で入れる貴重な機会とあって、松山の会員やゲストも参加しました。 南予支部長(予定)である原田浩さんの「昨年の豪雨災害から の回復状況はまだ4割程度。元に戻すのではなく、以前を上回 るつもりでがんばっていきたい。そのヒントとなる取り組みをしている のが、内藤さん。しっかり学んで、同友会の会員やそれぞれの地 域の仲間に伝えていきましょう」との挨拶でスタート。



する一方だったエネルギー購入費を、 地域内で循環させる仕組みを作ろうと いうのが、内藤さんの取り組みです。 大鍋氏も熱い人です さらに、内子町森林組合の参事であ

る大鍋直幸氏からも、内子町の地域性や森林組合の取り組みに ついて報告いただいた上で、発電所へ移動。丸太置き場から木 質ペレット製造ライン、オートメーション化された発電所内部まで、

処分に頭を悩ませていた未利用材 に、発電の燃料として値が付いたこと で活気づいている「山」。そこで生み 出されたお金が回り始めた「商店街・



熱く語る内藤さん

店舗」。間違いなく、一つの地域経済が動いていることを感じました。 お二人の話の中で印象に残ったのは「投資感覚で考えると儲か る話ではない。だが、自分たちの取り組みが、山の仕事をつくり、 地域に人を残し、地域内でお金を回すことに繋がる」、「『山しかな い』から『山がある』へ。山間部だからできる経済の回し方がある」「う ちのやり方が役に立つなら、いつでも相談に乗るし協力する」とい う共通の姿勢です。「国民や地域社会と共に歩む」という同友会 理念の一節は、こういった場から醸成されていったのではないかと 思わせる迫力のある報告でした。

原田さんの挨拶のとおり、内子バイオマス発電所の事例は、地 方の中小企業家に気づきと励みを与えられるものです。こういった 取り組みを広く発信していくのも、同友会の役割の一つであると、 改めて感じる機会にもなりました。

文責:大北 雅浩(愛媛同友会 事務局)

こだわりのじゃこそ

座学では、まず内藤さんが施設の

紹介と事業にかける想いを報告しま

した。従来、地域外・海外へと流出



宇和海・瀬戸の新鮮な魚を使用

才ははこなり一、 添加物を使用していません。 意添加! その三、

天然岩塩使用

〒 790-0004

愛媛県松山市大街道3丁目7-4 (松山城ロープウェイ乗り場斜め前) TEL · FAX : 089-935-8622

HP アドレス: http://umajaco.jp

ICT の知識や技術を活用し、お客様の夢をかなえます。



WFB サイト制作・運用・保守 セキュリティ運用・関連商品導入 システム開発・サーバ構築 ネットワークインフラ構築・電話設備

▶ 株式会社ディースピリット

〒791-1102 愛媛県松山市来住町 1430 番地 1 TEL: 089-948-4100 FAX: 089-948-4101

楽しみにしています。 年になるでしょうか。 あけましておめでとうございます。二〇二〇年になりました。今年はどんな 私は、 昨年以上にこのコーナーへの投句が増えることを

義父が煮る刻み昆布の雑煮かな

の父の仕事でした。 「年男」と言い、日本の風習の一つとなっています。選者の実家でも雑煮は年男 最近ではあまり見られなくなりましたが、お正月の家族行事を務める男性を 大北 雅浩さん(愛媛県中小企業家同友会

上五の「義父」の二文字が、様々な想像を膨らませてくれます。(「昆布」を夏 家では、雑煮の出汁は刻み昆布で取ることが伝統です。自分の実家と違うしき の季語に掲載する歳時記もありますが、掲句の昆布は、 たりに若干戸惑いつつも、 た出汁昆布と捉えられるので、季語ではないと判断しました。) 掲句は、そのしきたりを大切にする義父の姿が描かれています。配偶者の実 美味しく雑煮をいただく作者の姿が浮かんできます。 年中入手可能な乾燥し

賀状あり友の癖字を指が追う

難波 賢太さん(愛媛県中小企業家同友会

自然と指がその字をなぞりました。 追う」とすると、作者の意図でなぞっている様子となるので、この句の良さが 半減してしまいます。 に命を与えています。無意識に指でなぞる様が表現されています。仮に「指で ていないけど、忘れられない友人の癖字です。懐かしさが込み上がってきて 届いた年賀状の中に、一際目立つ癖字の一枚がありました。もう何年も会っ 下五「指が追う」の助詞「が」が、 指自体

からでした!

今月は以下なるべく沢山の俳句を紹介します

今月の景品は、(株)こもだ寝装

(菰田晃伸さん・今治支部)

(株) こもだ寝装さんからのコメント

初詣拝む姿が一人増え

嫁さんかお婿さんでしょうか。

家族が一人増えたのでしょうか。 松本 拓郎さん 「拝む姿」とあるので、赤ちゃんではなくお (NPO法人家族支援フォーラム)

初詣賽銭奮発何願ふ

例年より今年の初詣のお賽銭は奮発しました。作者は「何願ふ」 心の中では願い事は決まっているのかもしれませんね。 清水 規代さん(NPO法人家族支援フォーラム) と表現して

初日の出夜更かしすぎて朝寝坊

いますが、

た初日の出は見られずじまい。きっと夢の中で見たのでしょう。 大晦日から元旦にかけて夜更かしをしすぎてしまいました。楽しみにしてい 規代さん (NPO法人家族支援フォーラム)

三月 号

題 「春風」「蜆汁」「いぬふぐり」「梅」「水温む(みずぬるむ)」

いずれの兼題で投句下さっても構いません。また、兼題に拘らず自由に詠ん 講評:髙橋 大輔さん(広報情報化委員

でいただいても構いません。

さんから「クエ鍋セット」を贈呈しました 末賞与」最優秀賞の片岡彩夏さんには、景品として有限会社モンド 十二月号兼題「枯芒(かれすすき)」「ポインセチア」「師走」

AskDoctor 評価で 97% の医師が「勧め たい」と評価された健康まくら。心地よい 眠りをサポートするため後頭部、首、 の三点の圧力バランスを整えて安定した 寝姿勢を保ちます。睡眠時間が取れない 経営者の皆様の健康を質の高い眠りでサ ポートします。 医師がすすめる 健康枕 Ask 0000 肩楽寝 😃

何でも ご相談下さい

愛媛県西条市今在家 921 番地 TEL:0898-64-1333 HP:http://shiga-mame.co.jp



Wonderful Communication

www.e-itoman.jp



新入会員のご紹介(4名)

(11月23日~12月19日)

坂和 寿忠(さかわ としただ)

1986年6月18日生まれ 東温支部

(株)サカワ 代表取締役

黒板、電子黒板

〒 791-0301 東温市南方 2215-1 TEL(089)966-5566 FAX(089)966-4455

紹介者/何さくら 櫻田 直也

遠藤 正敬 (えんどう まさたか)

紹介者/㈱ヤツヅカ 八東 和志

一橋 克也(ひとつばし かつや)

〒 790-0911 松山市桑原 7-5-13

1978年1月28日生まれ 伊予・松前支部

TEL(089)932-7760 FAX(089)932-7760

ブリッジコンサルティング(株) 代表取締役

1972年9月14日生まれ 松山支部第2地区会 損害保険ジャパン日本興亜㈱

損害保険業

コンサルタント業

〒 790-0011 松山市千舟町アヴァンサ 5 階 TEL(089)943-2104 FAX(089)900-4691 紹介者/예福助珍味 内藤 成博

竹内 よし子 (たけうち よしこ)

松山支部第1地区会 特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク 代表理事

国際協力、環境教育、ネットワーク事業 〒 790-0803 松山市東雲町 5番 6号 TEL(089)993-6271 FAX(089)993-6271 紹介者/(一社)をかしや 菊間 彰

○会員変更

旧会員/程野 裕貴 (伊予·松前支部) 新会員/程野 成恭 (伊予·松前支部) 企業名/㈱程野商店 役職/取締役

○役職変更

会員/城戸 陽一 (伊予・松前支部) 企業名/㈱そごうマート 専務取締役から代表取締役社長に就任されました。



2020 年度会報誌名刺広告募集

会員の皆さんはもちろん、教育機関や報道機関も 目を通す会報誌に広告を掲載しませんか?

毎月発行している会報誌『えひめ同友』。2020年度『えひめ同友』への広告掲載を募集いたします!

◇掲載料:年間(2020年4月号~2021年3月号、12回発行)30,000円

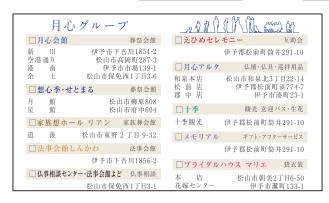
※スポット(1ヶ月) 掲載は 5.000円

◇発行部数:450部 ◇申込締切: 2020 年 2 月 28 日金

「広告が掲載される場所はどこ?」「広告の仕様は?」「原稿はどうしたらいい?」

等々、詳細は事務局までお気軽にご連絡ください!

連絡先・・・Tel:089-948-9920 Mail:info@ehime.doyu.jp







2019 年度 愛媛同友会 第8回理事会 議事録

【日時】2018 年 11 月 22 日休) 18 時 30 分~ 20 時 00 分 【会場】二番町ホール 【出席者】理事 14 名 事務局 3 名 【委任状提出】14 通 【議長】本田美紀 【議事録作成者】安丸雄介

開会挨拶:平野啓三代表理事

協議事項

- (1) 愛媛同友会 企業づくり方針について、人を生かす経営 4 委員会、環境経営委員会から方針の提案を受け協議。協議内容を基に企業づくり方針のたたき台を作成する。愛媛の同友会運動について企業変革支援プログラムを参考に実践度チャートを作り、強み・弱み分析をしてはどうかという意見があった。
- (2) 理事役員・理事会のあり方について継続協議された。 1989 年に申し合わされた「役員の7つのモノサシ」に ついて現在の理事役員に実践していくことで意思確認 していく。

承認事項

- (1) 入会・退会承認
- (2) 地域循環共生圏 地域フォーラムの「共催」依頼(環境省)について承認された。
 - ○パネリストの登壇での依頼があり、環境経営委員の 登壇で進める。金銭・スタッフの負担等はなし。
- (3) 2020 年度理事会の日程・会場について下記の通り、 承認された。

2020年5月14日(木)、6月25日(木)、7月30日(木)、8月27日(木)、9月24日(木)、10月22日(木)、11月26日(木)、12月17日(木)、2021年1月28日(木)、2月25日(木)、

3月25日(木)、4月22日(木)

※いずれも木曜日・18時30分から二番町ホール

(4) 第36回愛媛同友会定時総会について好永隆之・総会担当責任者より提案があり、企画内容として記念講演はとりおこなわず、運動方針・議案書を深める企画内容で具体化することで承認された。

報告事項

- (1) 経営フォーラム実行委員会より、名刺広告協力のお 礼とゲスト・オブザーバーが多数参加予定とのことで 参加進捗状況が報告された。
- (2) 代表理事会議、各支部、各委員会等の活動報告
 - ○武田正輝・広報情報化委員長より、会報誌の寄稿期限を順守できなかった場合には今後掲載しない方針とすることが報告された。また、12月11日休/に報道関係者との懇談会が行われ、報道関係者は訪問中で現在2社参加予定とのことで報告され、参加が呼びかけられた。
- (3) **全国・他団体行事について** 2020 年 2 月 13 (木) ~ 14 日 (金) 中小企業問題全国研 究集会 in 京都

閉会挨拶:米田順哉代表理事

会員情報大募集以

広報情報化委員会では会員皆さんの情報をお待ちしています。 会報誌で自社情報を発信しませんか?

是非、愛媛同友会会報誌を発信のツールとしてご活用下さい! お問い合わせは愛媛同友会事務局まで。

共に学ぶ仲間をご紹介ください!!

愛媛同友会は"仲間づくり運動"を推進しています。 共に学ぶ仲間を増やすには会員皆さんのご紹介が欠かせません。「会員は辞書の1ページ」です。百人百様の異なる経営体験を学び合うことで生きた学びになります。

お知り合いに同友会で学びたい方はいらっしゃいませんか? ぜひ、愛媛同友会事務局まで、ご紹介ください!

私たちは ICT で、誰もが働きやすい社会を創出します。





http://www.fellow.co.jp/

http://npo-fjs.org/

€ 089-987-6046

C 089-945-7698

システム開発事業 Web 開発事業 就労移行支援事業 就労継続支援 A 型事業 就労継続支援 B 型事業 放課後等デイサービス事業 アフリカ事業

伊子さつま

あったかご飯にかけるだけ えひめ南子・中予地方で今も食卓にのる 麦みそと海の幸・山の幸を まぶして食べる郷土の味



GINO ギノーみそ 紫菜

究極の挑戦者

麺屋十銭

昔ながらの尾道中華そば

〒790-0004 愛媛県松山市大街道2丁目3-15 携帯 090-1170-1860



& CLEANERS

清水屋クリーニング。

私たちが考える良いワイシャツとは、 エリが綺麗なこと。 着心地がしなやかでハリがあること。 清潔でいられること。

E-mail shimizu@infomadonna.ne.jp 〒790-0053 愛媛県松山市竹原 4 丁目 8-47

TEL 089-941-7388 FAX 089-947-2833



有限会社矢野商事(矢野質店)

住所:松山市花園町2番地3 電話:089-941-4044



いっせいグループ Issei Group

全を組みぐ 松山三番町。関 **L** 089-945-3829

「食」を通じて笑顔の輪を広げます。

銀の鶏

€089-927-1778

では一次 ****089-968-6836

香酒量 愛彩館

* ストランカフェ 1260

L089-955-2008 **L**089-933-6716 **L**089-935-8558

お酒の販売店 火嫂の蔵 HIMENOKURA **4**089-947-6817



弁護士法人たいよう

四国の躍進は地域企業と法律家の連携で

愛媛県弁護士会所属 代表弁護士/吉村紀行

愛媛県 松山事務所

愛媛県 大洲事務所

☎ 089-907-5601

20893-59-0353

リース車両メンテから、愛車の「困った」、点検まで トータル・カーメンテナンス



TEL 089-972-1228 fC FAX 089-971-4419



平野薬局グループ



株式会社 平 野



〒794-0028 今治市北宝来町2丁目2-22 TEL (0898) 32 - 0255

FAX (0898) 32 - 0350



— 明日を拓くパートナー —

安部 真 / 井上 徳之 / 近藤 壮 / 十河 篤史

〒790-0066 愛媛県松山市宮田町 186 番地 4 松山駅前ビル 4 F TEL: 089-948-8294 FAX: 089-948-8296

『企業の人のつながりを支えます。』

【提供サービス】

- ・社外総務支援サービス
- ・労使トラブル解決支援サービス
- ・会社を守るリスク管理支援サービス
- ・人事制度構築支援サービス
- ・社風向上支援サービス



横本社会保険労務士事務所

〒791-3120 愛媛県伊予郡松前町1350-6 TEL 089-984-2078 FAX 089-984-8533 URL http://www.humanity.co.jp

~人の一生を支えられる企業になりたい~

社団法人 日本義肢協会会員

=義肢・補装具・車椅子・補助杖・その他福祉関連商品=

有限会社 オルソ本田



■ 7 9 0 − 0 9 4 7 松山市市坪南丁目4番24号 TEL (089) 958-6617 FAX (089) 958-6641E-mail:ortho@abelia.ocn.ne.jp http://ortho-honda.com/

~災害に強いまちづくりをお手伝いします~ 家庭用からプロ仕様まで / 消防・防災の専門商社

扁株式会社 岩本商会

本社 松山市大手町一丁目 10番地 1

TEL 089(947)2111 • FAX 089(947)2116

高松支店 / 宇和島営業所 / 姫原倉庫 http://www.iwamotosyoukai.co.jp





NPO法人 家族支援フォーラム

しょうがいのある方の地域生活をサポートします。











http://www.h7.dion.ne.jp/~kazoku/

MOVE YOUR HEART!

服部製紙株式会社

〒799-0112 愛媛県四国中央市金生町山田井171-1 TEL0896-58-3005 FAX0896-58-3306 http://www.hattoripaper.co.ip



JXTGエネルギー株式会社特約店 ~灯油・軽油・A重油の配達もお任せください~

日與石油株式会社

拳 _{の 川 S S} 松山市湊町4丁目1番地2 089(931)3221 三番町SS 松山市三番町6丁目4-17 089 (941) 7685 カーフォート 松山市鴨川2丁目17一1 089 (978) 1616 和 気 S S 松山市和気町1丁目473-1 089 (979) 2044 配送センター 松山市空港通4丁目3-39 089 (972) 1002

ハト飛来防止用忌避剤 「ハートジェル」販売・施工代理店

株式会社トータル・ビル・サービス

松山市松前町2丁目8-3

TEL 089-946-3255



ハトの被害に頭を抱えていませんか? 「ハートジェル」はハトの習性を研究して 完成した、ハトを傷つけずに追い払う特殊ジェルの忌避剤です。テスト施工無料。 ※器具やネット等の取り付けと違い、建物の美観を損ないません。 ※効果は1年以上持続し、添付面を汚染することもありません。 お気軽にお問い合わせください。



徳島営業所

環境と未来を考えるシステムの包装商社

株式会社 パステム マツザワ

〒791-8507 松山市久万ノ台695番地1 中央市場堂業所 〒791-8016 松山市久万ノ台348番地1 TEL 089-924-3380 〒797-0045 愛媛県西予市宇和町坂戸542-4 TEL 0894-62-8980 宇和営業所 〒792-0872 新居浜市垣生3丁目310-11 新居浜営業所 〒733-0804 広島市西区山手町17-3 広島営業所 高知営業所

〒780-8040 高知市神田971-1 TEL 088-833-3433 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜宇川久保200-1 TEL 088-698-1585 香川営業所 〒761-2403 丸亀市綾歌町岡田西1081番地18 TEL 0877-35-7010 パックマート久万/台店 〒791-8016 松山市久万/台684-1 TEL 089-924-2475

TEL 089-925-7811 TFI 0897-67-1788

TEL 082-235-1003



愛媛県伊予郡松前町北川原 1240-1 TEL089-984-6658

よりよいくらしの想りをかたちた

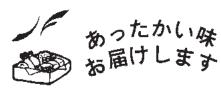
共同購入・宅配・店舗・福祉・共済・旅行・プレイガイド





本部/松山市朝生田町 3-1-12 Tel (089) 931-5201

http://www.coopehime.or.jp



ナカ フードサービス NAKA FOOD SERVICE

松山市大可賀2丁目2-12 (今 952-1156)